

シャープ(株)

製品種類: テレビ

機種名: 4T-C50FL1

販売年度: 2023年



評価項目(アセスメント評価項目)

番号	取組項目	説明
1	減量化・減容化	
2	再生資源・再生部品の使用	✓
3	包装	✓
4	製造段階における環境負荷低減	
5	輸送の容易化	✓
6	使用段階における省エネ・省資源等	
7	長期使用の促進	
8	収集・運搬の容易化	
9	再資源化等の可能性の向上	
10	手解体・分別処理の容易化	
11	破碎・選別処理の容易化	
12	環境保全性	
13	安全性	
14	情報の提供	
15	LCA (ライフサイクルアセスメント)	

製品アセスメントの概要

サステナビリティの観点から、プラスチック材料の再生材への切替促進と使用量の削減を目的として、スタンドのプラスチック部品に再生材を採用し、梱包用の発泡スチロールを小型・軽量化する事でプラスチック材料の削減を行った。また、梱包構造を見直し、ケースのサイズを小型化する事で、コンテナあたりの搭載数を増やし、輸送時のCO₂削減を推進した。

改善の具体的内容

[] 中の数字は関連する評価項目の番号です。

1. 再生資源・再生部品の使用 [2]

【新規】

スタンドのプラスチック部品に再生材を採用。

2. 包装 [3]

長年にわたる液晶テレビの梱包設計のノウハウを生かし、緩衝するために必要十分な保護エリアを確保した上での薄肉化を行う事により、緩衝用プラスチック材料の使用量を削減した。従来機種比 (緩衝材質量: 991g → 404g、約59%削減)

また、LCDパネルモジュールの仕様および構造変更とスタンドの構造変更による軽量化 (21.0kg⇒12.5kg) を実現した。あわせて、緩衝材の薄肉化によるケースサイズ小型化・減容化を実施。従来機種比 (ケース才数: 8.60才 → 5.67才、約34%減容化)

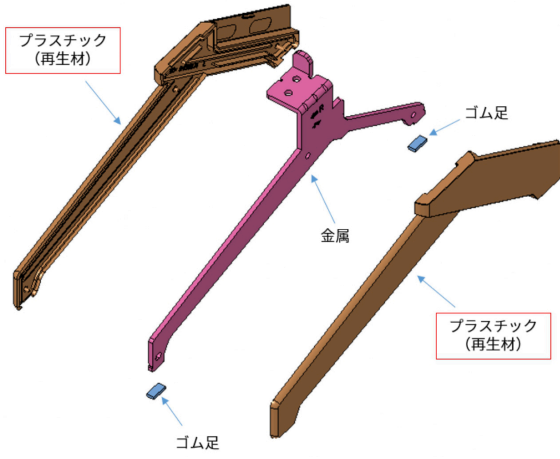
3. 輸送の容易化 [5]

コンテナ搭載入数を考慮した、梱包構造の見直しによる小型化・最適化設計をすることで、40ftコンテナ搭載量をアップした。(243台 → 351台、約44%UP)

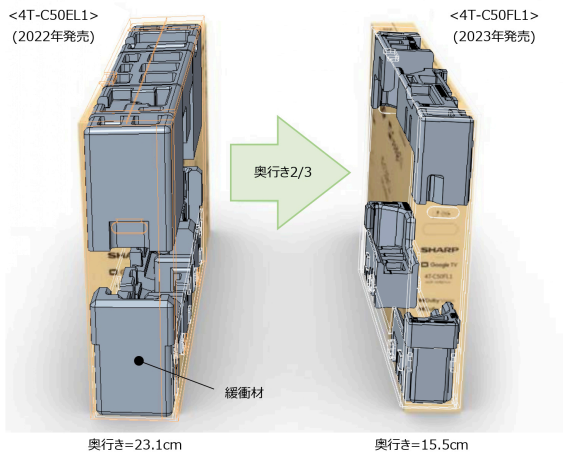
※従来機種 4T-C50EL1

構造等の図

スタンド分解図



スタンド



梱包